

社会人医学教育部門 主催セミナー：「肺がん治療最前線」コース

	第一日（3月18日）	第二日（3月19日）
午前		9:00-9:45 講義：WT-1 ワクチン療法 癌免疫研究室 10:00-10:45 講義：緩和医療 呼吸器内科 11:00-11:45 気管支鏡検査オリエンテーション 呼吸器内科
昼食		12:00-12:45 昼食：病院食 栄養マネジメント部
午後	13:30-13:45 オリエンテーション・診療科長あいさつ 呼吸器内科 13:45-14:30 講義：肺癌総論 呼吸器内科 14:45-15:30 講義：肺癌手術 呼吸器外科 15:45-16:30 講義：肺癌化学療法 呼吸器内科 16:45-17:30 講義：肺癌放射線療法 放射線科 17:45-18:30 実習：術前検査 臨床検査部、呼吸器内科	13:00-14:30 見学：気管支鏡検査 呼吸器内科 14:45-16:15 患者交流 呼吸器内科 16:30-17:00 総合討論 呼吸器内科スタッフ一同 17:00-17:10 修了式 （特定非営利活動法人 臨床研究・教育支援センター 社会人医学教育研究会 佐古田 三郎）
夕	18:45-20:00 懇親会	

## 肺がん治療最前線コース アウトライン

現在「3人に1人ががんで死亡する」と言われていますが、中でも肺がんは全がん死亡原因トップであり、しかも近年の高齢化社会を背景として患者数は増加を続けています。しかし一般の方々にとって、肺がんの患者様が病院でどのように診断され、どのように治療を受けておられるかは以外にも知られていません。

早期発見による外科的切除術は唯一治癒をもたらさうる治療として、現在に至るまで肺がん治療の中心的な役割を果たしてきました。しかしその一方で画像技術が発達し、放射線療法が大きく進歩しました。また分子標的剤を含む新規抗がん剤が開発されました。これらの治療法に緩和医療、分子生物学的研究の発達に基づく新規治療法の開発が包括的に機能する必要性がさげばれています。

本プログラムでは前半に、肺がんに対する外科治療、化学療法、放射線療法、緩和医療の最先端を紹介する講義、当院にて開発中である WT-1 ワクチン療法を紹介する講義を用意いたしました。これらを通じて肺がん診療全般にわたる知識を効率的に習得していただきます。後半には、肺がん診断に中心的役割を果たす気管支鏡検査の見学、当院呼吸器内科にて現在化学療法を受けておられる数名の患者様との交流の時間を十分に用意いたしました。患者様側より見た現在の肺がん治療について理解を深めていただくことを目的としております。

本プログラムを通じて皆様方と現在の肺がん治療に対する問題意識を共有したいと考えております。多くのご参加をお待ちしております。